

# 2013年度 理事長:藤田尚徳

スローガン

## わがまちから日本を再生する 和の精神で築き上げる 「輝きを放つまち静岡」

基本方針

- 1、静岡青年会議所らしさをもった一般社団法人としての新たな組織運営
- 2、アジアに生きる10年目のまちShizuokaの創造
- 3、未来への投資、自らを誇れる青少年育成事業の実施
- 4、経済活動において地域貢献できる人材への成長
- 5、支えられていることに感謝、永久に繋がるJIC魂の伝承
- 6、「徳孤ならず、必ず隣あり」の気概で挑むLOM力の増強



第8代理事長  
藤田尚徳

所信要約

近年、我が国は近隣諸国の発展を横目に、国際社会の中で自らの立ち位置を確保しなくなっている。また、個人主義や利己主義の横行に加え、正義感や秩序を軽視する風潮が蔓延している。その原因の一つに互いが互いを尊重しあう日本人古来大切にしてきた「和の精神」の欠如が上げられる。そこで、国際社会に生きるアジアの一員であるという考え方のもと「和の精神」を呼び覚ますとともに、「わがまちから日本を再生する」という決意を胸に、世界に向けて眩しすぎるほどの「輝きを放つまち静岡」を創造していく。その為に、まず国際社会の中でアジア諸国の一員としての意識を高め、アジアの交流都市をめざす。そのためにも静岡市全体で共有できる10年後20年後の壮大なビジョンが必要となる。次に、日本を再生するために子ども達の育成として「和の精神」から道徳心を養い、仲間とのつながりを大切にしたい、日本人としての志と誇りを呼び覚ます。最後に、静岡青年会議所対内対外のネットワークを学び、メンバーの成長につなげ、出会いから「和の精神」で繋がっていくことを学ぶ。



- 例会
- 1、シズカン×カンメウィーク2013 未来の静岡創生委員会 山口哲司
  - 2、4月度第一例会 『踏み出そう〜アジアから始まる国際交流の輪』 国際交流委員会 山口貴史
  - 3、5月度第一例会 会員交流事業 「JIC魂」継承例会 先輩とのつながり 静岡の「和」継承委員会 花城孝尚
  - 3、6月度第一例会 市民の心をひとつにする運動の推進 魅力溢れる静岡創造委員会 渡辺真行
  - 4、9月度第一例会 会員研修事業 未来を担う青年経済人育成委員会 前田洋希
  - 5、10月度第二例会、出向者支援活動 出向渉外委員会 渡辺信之
  - 6、11月度第一例会 世界に誇れる静岡に向けた運動の推進 未来の静岡創生委員会 山口哲司
  - 7、11月度第二例会 クリスマス例会 「和」のこころ繋ぐ委員会 松永亜弓
- 事業・例会
- 8、会員拡大事業 1月度例会、入会体験セミナー、ホローアップセミナー 「会員の和」拡大委員会 飯塚琢
  - 9、10月度事業 市民の心をひとつにする運動の推進 魅力溢れる静岡創造委員会 渡辺真行
  - 10、しずおか未来学園 屋久島徳育キャンプ ～つながり、続いていくぼくらの道～ 「和の精神」育む委員会 海野健多郎
  - 11、しずおか未来学園2 すんげえ〜新聞社 自らの誇り発見委員会 望月康利
  - 12、静岡まつり駿府紅蓮の大炎上 「和」のこころ繋ぐ委員会 松永亜弓
  - 13、清水みなとまつりへの参画 「和」のこころ繋ぐ委員会 松永亜弓
  - 14、JC旗争奪少年サッカー大会 「和の精神」育む委員会 海野健多郎
  - 15、わんぱく相撲 静岡の「和」継承委員会 花城孝尚
  - 16、ピーチフェスタinかんばら 未来の静岡創生委員会 山口哲司

どんな  
一年か

- ・「輝きを放つまち静岡」にむけて国際社会特にアジアの一員としての自信と自覚を持つことを目標に事業が行われた。例えば、国際交流事業の韓国・仁川青年会議所との姉妹締結、10年後20年後を見据えた静岡の壮大なビジョン作りなどが挙げられる。
- ・「日本を再生する」ために「和の精神」すなわち互いを尊重し、つながりを大切にする意識を醸成する活動が多い。例えば、未来学園事業「屋久島徳育キャンプ」、JIC魂継承例会による先輩とのつながりの場、出向活動などが挙げられる。



1月度第一例会



1月度第二例会



3月度 青年経済人育成セミナー



6月度 キャンプアート